

東光原

NewsLetter



附属図書館公認キャラクター「くまぼん」

第11回 熊本大学東光原文学賞 受賞作決定！

大賞

「好きじゃないひと」 高穂 ひさ

優秀賞

「財布なんざ常に領収書でいっぱいだ」
南藻 ナイ

「トモちゃんと猫」 苛屋

「柿」 山田 龍太

特集！ 熊本大学東光原文学賞受賞者インタビュー 2-3p



第十一回 熊本大学東光原文学賞 受賞者インタビュー

- 質問1) 受賞作へ込めた思いをお願いします。
- 質問2) 小説を書いている過程で楽しかったこと、工夫したこと、苦勞したことなど教えてください。
- 質問3) これから東光原文学賞に応募しようかなと思っている人へアドバイスををお願いします。
- 質問4) その他、伝えたい事などありましたらお願いします。

大賞

高穂ひさ 作品名:好きじゃないひと

Q1: 読み手に何かを伝えるというよりも、後の自分に高校時代を思い出させるという役割が大きく、込めた思いを強いて言うなら、私が満足したいという感情だと思います。

Q2: 登場人物である伊勢泉を書きたいがための小説なので、彼女が登場する場面、彼女について考える場面を書くのがとくに楽しかったです。苦勞した部分は、感情の機微を自然にするのなど、自己満足から誰かに見せるための作品にするための修正です。それを経た出来上がりは、自分で言えるくらいに良くなっていたので、やってよかったなと思います。

Q3: 私が今回受賞できたのは、周りのひとたちの助けがあったからです。サークルの先輩にこの賞へ応募してみてもどうか、と言われたのがそもそものきっかけですし、他にも、その先輩にアドバイスを頂いたり、文芸部の友人に小説を見てもらったりもしました。友人や親兄弟など、小説の相談をできるひとを身近に作ることは大きな力になると思います。

Q4: 先日、お祝いに初ひとり焼肉に行きました。東光原に応募してなかったらこんなこともしなかったでしょうし、これを機に今までやったことないことをいろいろやってみようと思います。ありがとうございました。

優秀賞

南藻ナイ 作品名:財布なんざ常に領収書でいっぱい

Q1: 駄目な冴えない毎日を送っている私が、駄目な冴えない毎日を送っている誰かと慰め合いたいがために書きました。

Q2: 韻を踏んだり、駄洒落を言ったりするのが楽しかったです。基本的にふざけた話なのですが、挫折感でいっぱいなので、自分のいろいろな失敗を思いだして勝手に辛くなりました。

Q3: 書いている途中で、自分は一体何をやっているのだろうという気持ちになるかもしれませんが、とにかく書いて、恥ずかしがりながらも誰かに何かを言うのは、素敵なことだと思います。

Q4: 私のくだらない文章で、一瞬でも笑ってくだされば、胸いっぱい幸せです。

苛屋 作品名: トモちゃんと猫

Q1: 今作では、「猫と会話ができるおもちゃ」というアイデアを元に書き始めました。そこから想像をふくらませて、そのおもちゃをとりまく小学生の子どもたちのリアルなやりとりや距離感を表現しよう、と思い、作品を完成させました。

Q2: 主人公の心情をよりリアルに表現しようと、なるべく主人公の目に映るものを描写しようとしたのですが、なかなかピタリとくる表現が見つからず、大変でした。

Q3: 言葉をえらび、文章を作り、それらをつなげて1つの作品とするのは、とても労力がかかり大変なことです。その分完成できたときの喜びは大きいものだと思います。応募しようと考えている方は、とりあえず作品を完成させることを目標とし、それを達成すれば、ものを書くことの楽しさを感じられるのではないかと思います。

Q4: 東光原文学賞には、自分の作品を完成させる、という経験をする機会をくださり、とても感謝しています。東光原文学賞に受賞できた、という経験を糧に、今後も作品を書き続けていきたいと思っています。ありがとうございました。

山田龍太 作品名: 柿

Q1: 格好つけて言うと、挑戦的な作品にしようという思いがありました。矛盾とかカオスとか自分の奥に確かにある、けどよくわからない感情をほじくって表現してみたかったんだと思います。それゆえ一筋縄ではうまくいかないこともありましたが、日常で霞かかっていた自分の輪郭のようなものがやんわり浮かび上がって再認識できた気がしたり、そんな伊達なことはできなかったような気がします。ひとつ間違いないのは、自分と向き合う大変いい機会になったことです。

Q2: 普段言葉にすることはおろか、腰を据えて見詰めることすらなかったような感情と向き合うことは難しく、机に座っていると妙にもじもじしてきました。自分の皮をペリペリ剥がし、茹でたり顕微鏡で見たりしていると、あ、こんなところにほくろが、みたいな普段気づかないことが発覚したりします。しないこともあります。自分の中から物語を紡ぎ出すという行為は難しかったですが、その分ひとつの作品としてどうにか形作り終えたときはなんとも言えない達成感があり、ついつい普段は手を出せないコンビニのハーゲンダッツを買って食べました。

Q3: 自分から生み出した何かの塊みたいな1万字数を超える原稿をポチッと送信したあとにひとり食すハーゲンダッツは最高ですので、みなさん是非。

Q4: これからも続いてほしいイベントなのでどうかこれからも続いてほしいです。



『熊本大学東光原文学賞作品集』は
3月末に刊行！
HPでも後日公開予定！
乞うご期待！

中央館では、学部生貸出冊数

5冊増えて

10冊を試行中！

ご存知ですか？

ジャパンナレッジ

JapanKnowledge Lib

・約50種類の事典・事典、叢書、雑誌などを横断検索できる

・レポート作成に役立つ確かな情報源

・就活にも役立つ「会社四季報」も入ってる

・図書館HPからアクセス可（詳しくは東光原ニューズレターNo. 26 (2018. 3) を）

・図書館では、提供元から講師を招いての説明会も開催

平成30年度開催したところ「キーワードから関連ワードを広げられることを実感でき参考になった」（院生）「資料を探す際に役立つと思う」（学部生）と好評でした。次年度も開催予定です。興味を持った方、是非ご参加ください

安高啓明研究室×附属図書館連携企画VI

3月末頃まで！

『日常を襲った衝撃－江戸の災害と人々－』



開催中！